

コミュニケーション英語 I

単位数	3 単位	対象学年	1 学年	対象クラス	全クラス
使用教科書	All Aboard! English Communication I (東京書籍)	副教材等	ビーコン英和辞典・ チャンクで英単語 Basic		

1. 学習の到達目標

- 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。

2. 到達目標に向けての具体的な取り組み

- 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点を捉えさせる。
- 説明や物語を読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点を捉えさせ、聞き手に伝わるように音読させる。
- 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合わせ意見の交換をさせる。
- 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書かせる。
- 副教材を用いて、単語力の定着を図る。

3. 学習上のメッセージ

- 予習・復習を徹底すること。
- 教科書・ノート・ファイルは毎時間持参すること。
- 提出物は期限を守り、必ず提出すること。
- ノートの作成をすること。(本文・訳・板書事項を必ず写し、配付されたプリントはきれいに貼る)
- 英語における4技能を活用する授業のため、欠席・遅刻をせず、積極的に授業に参加すること。

4. 評価の観点・方法 (年間の評定)

評価は次の4つの観点から行う。

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。
外国語表現の能力	外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。
外国語理解の能力	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。
言語や文化についての知識・理解	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。

このための評価は具体的に次の物を対象とする。

- ①年5回の定期試験
- ②板書を写したノート、プリントを綴じたファイルの提出
- ③日々の授業に対する積極性や出席状況
- ④本校生徒としての規則に則った服装での学習参加

以上の点の①を70%、②～④を30%として評価する。

単位の認定に関しては年間通じて①～④で十分な結果を出したものに対して行う。

5. 学習内容と評価について

単元名	使用教科書項目	指導内容と評価のポイント
Lesson 1	This Is My House	動詞の過去形について理解し、文を作ることができる。
Lesson 2	My Favorite Hero	現在進行形・過去進行形について理解し、文を作ることができる。
1 学期中間試験		
Lesson 3	Cool Culture from Japan	助動詞 (can, should, will) について理解し、文を作ることができる。
Lesson 4	A Miracle Mirror	不定詞 (名詞の働き・形容詞の働き・副詞の働き) について理解し、文を作ることができる。 英語でのメール
1 学期期末試験		
Lesson 5	Finding My Future	動名詞 (動詞のing形) について理解し、文を作ることができる。
Lesson 6	A Funny Picture from the Edo Period	受け身 (be動詞+過去分詞) について理解し、文を作ることができる。
2 学期中間試験		
Lesson 7	Living on Ice	現在完了形 (経験・継続・完了) について理解し、文を作ることができる。
Lesson 8	Building Trust in Space	Itの用法について理解し、文を作ることができる。
2 学期期末試験		
Lesson 9	Pig from across the Sea	関係代名詞を使った文を作ることができる。
Lesson 10	I Am Malala	比較表限 (形容詞の原級・比較級・最上級) について理解し、文を作ることができる。
学年末試験		

